

6月29日7限「総合的な探究の時間」に第1学年普通科3クラスを対象に、「SDGsとふるさと美濃市」と題して、地元の活性化をテーマに丸重製紙企業組合 理事長 辻 晃一 様に講演をしていただきました。また自らの経験をもとに、挑戦することの大切さや他人が変えようと思ったことが新しいことを始めるにはむしろチャンスであるなど、生徒には刺激的なお話をしていただきました。



生徒の感想

- ・ 自分で何かをするというのは大変なことだけど、その分やる気も出ると思うし自分でやったことだから最後まで責任を持てるので、これからは自分の考えを大切にします。
- ・ 辻さんは、自分だったら立ち直れないくらいの失敗をたくさんしていると聞いていたけど、それでも失敗を恐れず、前向きに進む姿がすごいと思った。私も失敗なんか怖がらず立ち向かっていこうと思った。
- ・ 今まで適当に勉強して、それなりの大学と会社へ行けばいいと思っていた。しかし、これからの日本（地方）で、過疎化、食の減少、食糧危機など様々な問題がある中、問題を見つける、解決する力の大切さや自分を自立させることの大切さにあらためて気づかされた。
- ・ 今日の講演で改めて挑戦する大切さを学ぶことができました。失敗は行動した人の特権ということをお心においてどんなことも挑戦していきたいです。またどうしたらよい市にできるか考えて美濃市に貢献していきたいです。
- ・ 僕は今日の話聞いて自分で決めたことはやり切ろうと思いました。また他人と考えが違ったとしてもそれをチャンスにだと考える思考も大切にしようと思いました。
- ・ 課題がたくさんある中で自分が地域をよくしよう、活発にしようとする気持ちがすごいと思った。失敗ということのとらえ方を変えて自分の可能性を広げていきたい。
- ・ 辻さんがどんなこともチャレンジしていく姿がとてもすごいと感じました。「失敗は挑戦した人の特権」という言葉を聞いてどんどん挑戦することをしてみたいと思いました。
- ・ 聞いていてとても面白かったです。電気のはなしがとても魅力的でした。和紙って今は需要あるのかな、買う人いるのかなって和紙を見るたびに頭をよぎっていたけど、イベントの話聞いてとてもわくわくしました。今まで企業とか本当に興味がなかったけど今回の話を聞いて、自分で考えて失敗してもいいからしたいようにやりたいと思いました。